



7/19  
「楽しく描けた」 福重舞桜さんが  
県青少年美術展少年部最優秀賞を受賞

妻木小2年の福重舞桜さんが、令和3年度県青少年美術展少年部で最優秀賞を受賞しました。作品は舞桜さんが大きな魚と海の中を泳ぐ様子を描いたもので、クレパスで塗った画用紙を貼り付けたり、背景を水彩絵の具で着色したりとてもカラフルに仕上がっています。市教育長から伝達表彰を受けた舞桜さんは「楽しく描けた」と教えてくれました。



7/21  
ミッションをクリアしながら楽しく探検  
給食センター探検隊

普段は入ることができない給食センターの見学会が開かれました。見学会では、手洗い体験や1,000人分の調理ができる釜のかき混ぜ体験などが行われ、「探検隊員」となった参加者たちが楽しそうにクリアしていました。また、調理員たちへの質問コーナーも設けられ、「何時から給食を作り始めるの?」「作っていて、お腹空きませんか?」などの質問が寄せられました。



7/27  
それぞれの色を輝かせて  
インターハイ出場者を激励

全国高等学校総合体育大会(「インターハイ」)に出場する選手の激励会が、市文化プラザで行われました。大会には土岐市在住・在学の生徒11人が、ウエイトリフティングや柔道など7種目に出場。選手は「1つでも上の順位を目指したい」「両親、指導者に感謝の気持ちをもってプレーしてチームに貢献したい」と、それぞれの抱負を胸に競技に臨みました。



7/30  
コロナ禍の取り組みを発表  
第6回 夢と絆 中学生サミット

市内6の中学校の代表者が濃南小中学校に集まり、「コロナ禍での生徒会活動」をテーマに意見交流を行いました。会場となった濃南中学校からは、小中一貫校ならではの行事や中止となった合唱祭に代わり開催した文化祭などが紹介されました。また、1人1台支給されたタブレットを活用した取り組みが紹介されると、「参考にした」「さっそく取り入れたい」などの意見が出されました。

7/1  
第71回社会を明るくする運動  
総理大臣・岐阜県知事メッセージ伝達式

7月を強調月間として全国で開催される「社会を明るくする運動」が今年第71回を迎え、この日は総理大臣・岐阜県知事メッセージの伝達式が市役所で行われました。土岐保護区保護司会の出口満知子会長と後藤健次副会長からメッセージを受け取った加藤淳司市長は「地域の力を挙げて取り組む必要があります、引き続き皆さんのお力添えをお願いしたい」と挨拶しました。



7/3  
『夏の交通安全県民運動』  
多治見警察署員による交通安全教室

7月11日から20日の「夏の交通安全県民運動」に合わせ、高齢者への交通安全指導を行うシルバー・セーフティ・アドバイザーを対象にした交通安全教室が市役所で開催されました。教室では、身体機能の低下をしっかりと認識することや、歩行時や運転時の注意点などが説明されました。また、運転免許証を自主返納できる臨時窓口が開設され、この日は運転に不安を感じたり、必要性がなくなったりした5人の方が手続きに訪れました。



7/20~26  
土岐市消防本部  
熱海市の被災地で支援活動

7月20日、消防庁長官から緊急消防援助隊の出動要請を受け、市消防本部の隊員3人が岐阜県大隊第1次派遣小隊として、静岡県熱海市で発生した土砂災害の被災地支援のため出動しました。活動は第2次隊まで合計6人の隊員が携わり、同月26日夕刻に全員無事帰庁しました。



第1次隊派遣小隊長 水波邦彦(南消防署)

被災地では、厳しい状況を理解していましたが、隊員一同、親族に顔を見せてあげたいという一心で家や車両を飲み込んだ土砂を手作業で除去し、行方不明者の捜索・救助活動を行いました。その中、地元の方が手洗い場を提供してくれたり、感謝のメッセージを掲示してくれたりしたことは、大変励みになりました。

被災地を見て感じたことは、土岐市でも今回のような想定外が起こりうるということです。過去の経験や教訓という言葉だけでなく、住民の方々を含めそれぞれが危機管理意識を高め、行動に移すことが非常に大切だと感じています。